**【11月9日湘南学園炊き出し体験】**

**13：30～14：30**

1. **志絆会紹介、西川自己紹介**
2. **発起人、理事長、樋口の紹介**
3. **飛田料理組合吉田さま**
4. **一般財団法人ワンネス森田さん**
5. **スーパー玉出さまの紹介　食材の寄付、お土産エコバック（転売禁止）**
6. **お土産：ビックイシューさんから路上脱出ガイド（関東版、関西版）**
7. **湘南学園から清水先生ご挨拶と生徒代表**

**「こしみず　もあな」さん、　「きし　さくら」さん**

1. **グループに分かれてパック詰めを行う。テーブル説明**
2. **グループリーダーの紹介**
3. **アルコール消毒と手袋着用で調理をする。トイレの説明。**

**14：30～15：00**

1. **ディスカッションの時間**
	1. **路上生活者に対するイメージ→スタッフから生徒へ質問**

**スタッフが実際感じている路上生活者とは？**

**【プライドが無いからか？素直にありがとうと感謝の言葉を言ってくれる。プライドがあるなら路上生活はしないと思うし、ありがとうと素直に言えないはず。ありがとうと素直に言えるということは、社会復帰する気力と体力もなく不可能ではないかと思う】一方で【生保支給を望まないから路上生活をする。炊き出しを命綱としている】**

* 1. **仕事を休んでまで無償の炊き出し活動に参加する理由→生徒からスタッフへ質問**

**【気づいたときには両親が炊き出しや地域の掃除を行っていたので、自然と当たり前のようにボランティアが出来る環境になっていた。自分から行動おこすきっかけとなったのが、1995年阪神大震災。いてもたってもおられず何か役に立ちたいと思い、ほうきとちりとりを持って神戸の街に粗大ゴミの掃除を継続して行った】【私にとっての炊き出し活動は今までお世話になり育ててもらった社会への恩返しだと考えている。縁があって炊き出しに出会ってるので人生の使命だと考えている】**

1. **防災会館で記念撮影**

**15：00～**

**街歩きに関しての説明。【頭で考える路上生活者と実際街歩きを行い、おっちゃん達と交流してカレーを手渡すことによって頭で考えているのとずれがあるのか無いのか。】**

1. **街歩きルートの説明→2ルートに分かれて配布開始**
2. **おっちゃん達には【はいどうぞ！】と声掛けして渡してください。**
3. **防災会館には戻らないので、忘れ物がないように。**
4. **最終ゴールはシェルターだが、路上に列が出来ているかもしれないので、**

**シェルターへ行く前に配る。（事前に列の人数スタッフが把握してもらったほうが良い）**

**17．　本日の御礼。今後の人生何か一つでも役立てればと思います。**

**18．　あいりんシェルター前で記念撮影**

**19．　25号線でお見送り→終了。スタッフは防災会館で後片付け。**